

5 月度学術講演会

日 時 5月16日(土) 午後2時
 演 題 ストレス疾患と漢方
 講 師 センプククリニック 院長 千福 貞博 先生
 出席者数 19名
 共 催 株式会社ツムラ
 情報提供 ストレス疾患に対する漢方治療 -最近の話題-
 担 当 富永良子

総論

身体構成の3要素：気（陽）、血（陰）、水（陰）

気（陽）・血（陰）・水（陰）を勉強するときの注意点

- 1、水毒＝浮腫
 2、気鬱＝うつ病 } と思い込んでしまうことは誤り
 一方で
 3、血虚＝貧血は、成立するであろう
 4、瘀血＝微小血管血流障害であるが、自律神経の異常状態が原因

	病態	治療薬（生薬）
気	気虚	補中益気湯（人参、黄耆）
	気鬱	半夏厚朴湯 香蘇散 茯苓飲合半夏厚朴 （半夏 厚朴 紫蘇葉 柴胡 香附子）
	気逆	苓桂朮甘湯 甘麦大棗湯 （甘草）
血	血虚	四物湯 （当帰 川芎 芍薬 地黄）
	瘀血	桂枝茯苓丸 桃核承気湯 （牡丹皮 桃仁）
水	水毒（滞）	五苓散 苓桂朮甘湯 （沢瀉 猪苓 蒼朮 茯苓）

<気>の3病態	代表的西洋医学病態
気逆	パニック障害
気虚	うつ病
気鬱	咽喉頭異常感症

各論

- 1、めまい⇒39番 苓桂朮甘湯+71番 四物湯
- 2、過換気症候群（パニック障害）⇒39番 苓桂朮甘湯+72番 甘麦大棗湯
- 3、うつ病⇒41番 補中益気湯、60番 桂枝加芍薬湯+71番 四物湯
- 4、咽喉頭異常感症⇒16番 半夏厚朴湯、116番 茯苓飲合半夏厚朴湯、他
- 5、胸部不定愁訴⇒16番 半夏厚朴湯、102番 当帰湯

1、めまい

漢方でのめまいは、回転性・非回転性の区別なし

脳血管障害やメニエール病などを除外できたら水毒を見抜く

問診	冷水を好んで飲む（温水摂取は治療になる）
脈診	滑脈が多い
舌診 （舌を出す）	齒痕舌がないか（歯に当ってできた凹みや舌が口角からはみ出す等）
腹診	振水音はないか

急性期のめまいには連珠飲（39番 苓桂朮甘湯＋71番 四物湯）。

17番 五苓散も有効（悪心・嘔吐があるときはこちらを優先）。

重炭酸ナトリウム（メイロン）の静注やビタミン入りの点滴も併用可能。

2、過換気症候群（パニック障害）

漢方医学の概念では“奔豚気（ほんとうき）

39番 苓桂朮甘湯＋72番 甘麦大棗湯

甘草は容易に偽性アルドステロン症（低K血症、浮腫等）生じるため、

毎日服用する場合は5gまでにする。1gでも偽性アルドステロン症になる場合がある。

急性・慢性にかかわらず39番 苓桂朮甘湯は効果あり（めまいに伴うパニックにも有効）

3、うつ病

西洋医学でのうつ病は1、興味喪失 2、易疲労感が長期間、常時存在すること。

西洋医学的うつ病を疑ったら、脈診で心脈（左橈骨動脈遠位端）をとり、“沈脈”であれば気虚と考え治療する。（沈脈は全身倦怠感や睡眠不足などを意味する。）

参耆剤（じんぎざい：人参と黄耆）が適応⇒41番 補中益気湯または 136番 清暑益気湯
疲労の代表である夏バテにも効果あり。

PTSDを疑えば、60番 桂枝加芍薬湯＋71番 四物湯

4、咽喉頭異常感症（梅核気）⇒16番 半夏厚朴湯、116番 茯苓飲合半夏厚朴湯、他

半夏厚朴湯が無効の時、白苔、逆流性食道炎、不眠の有無により柴朴湯、加味逍遥散、
麦門冬湯など使い分ける。

逆流性食道炎が原因と考えられる場合は、116番 茯苓飲合半夏厚朴湯を処方している。

5、胸部不定愁訴⇒16番 半夏厚朴湯、102番 当帰湯

冠動脈ステント留置後、胸部不快感に有効であった症例を提示

千福先生の治療法

気虚	西洋医学でのうつ病、心脈低下（脈診） 参耆剤を基本 補中益気湯が代表
気鬱	梅核気、噎気、腹部膨満、心下痞鞭（腹診） 半夏厚朴湯、当帰湯、香蘇散、茯苓飲合半夏厚朴湯
気逆	急性瘀血、振水音（腹診）、呼吸困難 甘草を基本 苓桂朮甘湯、甘麦大棗湯